

# なんかい、97号

2015年2月1日発行

南海寮 広報委員会  
熊本県天草市本町下河内1685番地の1  
TEL 0969-23-3850  
FAX 0969-22-4977  
Mail keiyukai@cup.ocn.ne.jp  
URL http://www.nankairyu.or.jp/

## どんどや（鬼火焚き）年男・年女のみなさん



年頭所感

### 成長できる環境づくり

理事長 酒井保之

新年おめでとうございます。

この度、理事会のご推薦で理事長を勤めることになりました。昭和四十六年に精神科医となり、現在、酒井病院の理事長もしております。

年代には、当院に知的障がいの方が多く入院しておられました。病院生活の中で、この方達には治療とともに教育・援助が大切であると考えられました。松浦前理事長を初め私の父、渡辺・平田・宮崎理

事等が何度も協議される姿が今も思い浮かびます。そして御苦労の末「南海寮」が誕生し、今日の姿に発展してきています。

神障がい者は同じ障がい者として認められ、続いて平成十八年四月に「障がい者自立支援法」が生まれました。平成二十六年四月からはこの法律が「総合支援法」となっています。障がい者の方を社会の中で医療や福祉などを通じて総合的に支援していきましょうものです。この中には難病と言われる方も含まれました。

者がうまく成長して、人がより健全に育って行く環境が生まれます。南海寮の職員さんの努力は、当院の開放的医療にも影響を与えました。今、利用者の方は高齢化が重なってきました。生活のしづらさとともに身体的な疾患を抱えられるようになっていきます。そこには環境の安全性が強く求められます。また、環境には法的なものが大きく関与してきます。

長い間、南海寮の発展に尽くされました松浦政一前理事長には、大変ご苦労様でした。厚くお礼を申し上げます。年頭に当り皆様方の心温かいご努力・ご援助をお願いしながらご挨拶と致します。

平成五年十二月には「障害者基本法」が制定され、知的障がい者、身体障がい者、精





11月  
23日

## 本町ふるさとまつり

### 地元のまつりを大満喫

晴天にも恵まれ絶好のお祭り日和でした。皆さん、朝から落ち着かれず外出を心待ちにされている様子が伺えました。現地では色々な出店があり、匂いにつられて何を食べようかなと目を輝かせている人や演劇場で催し物があり思い思いに楽しまれておりました。当施設の焼きトウモロコシ販売も評判良くあっという間に完売しました。帰りの車内ではお腹も満たされ、満足そうな顔や、楽しかったと話も尽ず、地域の方との交流を深め楽しい一日を過ごすことが出来ました。

(櫻井裕己)



12月  
19日

## 餅つき・忘年会

### 1年を締めくくる餅つきと忘年会

今年も天草警察署若草会7名の方にボランティアとして協力して頂き、サンタやトナカイの衣装に扮装し一緒に餅つきを行って下さいました。「よいしょ！」の応援の声や激しいきね使いに拍手が送られる場面もあり、皆さんつきたてのお餅を堪能。忘年会では、オードブルやおでん、ちらし寿司等ご馳走を満喫し、思い思いに話に花を咲かせておられました。今回の餅つき・忘年会で沢山の笑顔に出会う事ができました。それは皆さんの「繋がり」があったからだと思います。参加して下さいました若草会やご来賓、ご家族・業者の皆様には、厚く御礼申し上げます。ありがとうございました！

(金子 史)



1月  
1日～

## 初詣

### 一年の計は初詣にあり

年が明け、少グループに別れて利用者の方々と一緒に初詣でに出掛けました。重度の方は手を合わせたりする事はできませんでしたが、参拝中は普段とは違った表情が見られ、大変嬉しそうにされていました。私たちにとって、とりとめのない外出ひとつ取っても、利用者の方にすればとても嬉しかったり、楽しみにされているんだなと改めて感じました。私たち支援者が利用者の立場に立って、外出など計画、実施することの大切さを心新たに初詣となりました。

(田中雄三)



1月  
7日

## どんどや

### 無病息災を記念する伝統行事

今年の年男、年女は職員も含め11名でした。職員よりどんどやの由来についての説明の後、年男の江崎淳一さん、年女の佐々木ますみさんによる檣への点火でどんどやが始まり、燃え上がる炎を見ながら皆さん歓声を上げたり、記念撮影を行いました。また、どんどやの楽しみといえばもち焼きですが、皆さん、餅が焼けるのを今か今かと待ち遠しい様子で眺めておられ、餅を食べる顔は最高の笑顔でした。今回は昨年同様昼食も外でおにぎりや豚汁を摂られ、午後よりは焼き芋も食べ、お腹いっぱいの日でした。

(唐津伸康)

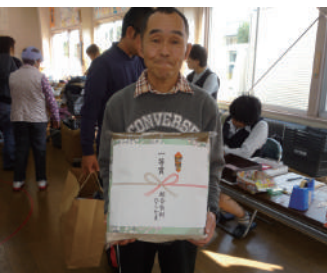


## 日帰り旅行～有明～（11月）

リップランド有明さざなみの湯



## 冬季衣類購入（11月）



## ふるさとまつり (11月)



## 餅つき忘年会 (12月)



## 初詣 (1月)



## どんどや (1月)



## 修 告

### 「わるつ」発達障がい連続講座 支援力の向上を目指し果たすべき支援者の役割

支援員 大 中 佑 介

近年、福祉分野においては発達障がい支援は非常に重要視されており、当施設でも自閉症利用者への支援にあたる中で、職員間で支援について試行錯誤している現状です。発達障がい支援は非常に難しく職員の理解、支援力が問われる時代となっています。

今年度7月より開講した本講座も今回で3回目となり、川崎医療短期大学医療保育科専任講師の重松孝治氏を講師のもと、実際の事例をふまえながら「発達障がいの理解と支援者の役割」のテーマに沿った講義がありました。その中で印象的だったのは「支援者は簡潔で具体的に伝

える事を念頭に、良い受け手となる事が重要」という言葉でした。

自身の支援を振り返ってみると見直すべき事が多く、講義を受けながら発達障がいを抱えた人は「成功を経験する事により成長できる」「短所は長所で補う事ができる」事を再確認でき、理解を促すために「聴覚」ではなく絵や写真など「視覚」を利用して説明していく事が重要であると感じました。

## 修 告

### 相談面接技術研修会 専門職として、信頼される職員を目指して

支援員 金 子 史

福祉サービスの利用者や、その家族が主体的に問題を解決しその人らしい生活を自ら選択できるような援助するためには、「相談面接技術」を習得し、専門職としての援助関係を築く事が必要になるとのことで、今回は相談面接技術の基本について学びました。

まず身に付けていかなければいけないテクニックとして「傾聴」「聴く」とは何か？相手の言葉をそのまま聞き情報を得るのではなく、相手の表情や声の抑揚、接触、嗅覚、触覚、全てを使って相手の情報をイメージすることが必要との話しがありました。また面接者は専門職で

あり、知識や情報があつて当たり前。そこで視覚情報等を用いたクライアントの視点に合わせて説明する事で、相手の自己決定を促すことが出来る。「面接者の信頼関係にも繋がる」との話があり、実際に私たちが利用者支援していく上でも重要なことだと感じました。

今後「傾聴」を更に意識し信頼される職員を目指していきたくです。

## 施設内研修テーマ

### 意思決定支援について

意思決定とは、意思を決定する十分な体験や経験があり決定に必要な情報の入手・理解・保持・比較・活用がなされ、決定した意思が表出できるといふ流れです。重度の障害がある人でも、必ず意思や意向、あるいは考えや気持ちがあり自分で決めることができます。その事を大前提としてどうすれば意思の決定を支援できるか？と考えるのが「意思決定支援」のポイントといえます。

「選びやすい選択肢の提供」その方の表情や日頃の生活から意思を読み取る「意思表出行動の読取り（支援者側の意思受信能力）」などではないかと思えます。

日々の支援の中で、発語が無い方やこだわりが強い方などに對し、支援者側の思い込みで判断して支援を行っていないか？と考える事もありません。そのように意思がわかりにくい方々についての支援として、写真や絵を使用した「分かりやすい情報提供」や

前述のように、私達は日々生活していく中で経験や体験を通して、必要な情報を入力し理解する事で自分の意思を決定する事を繰り返して生活しています。しかし、知的障害や発達障害がある方は私達が当たり前のように繰り返している事でも支援が必要であり、それは大切な事だと再確認できました。「どんな重い障害の方でも意思、思いや気持ちがある。自分で決める事ができる」をいつも頭におき「毎日が楽しい！」と思っただけのような支援をして行きたいと思いました。



# がんばったで賞

毎月「なにかひとつ頑張った」ことを表彰している「がんばったで賞」  
今回は平成26年11月から平成27年1月に受賞された皆さんです。

## 11月 (Nov)



岩崎康暢さん  
字や時計の学習を  
がんばっています



佐々木ますみさん  
洗濯などの手伝いを  
がんばりました



富田純善さん  
掃除をがんばりました



野元とも子さん  
ビーズ製品や絵の作業を  
がんばりました



濱本崇浩さん  
歩行をがんばりました

## 12月 (Dec)



泉まりのさん  
栗の皮むき作業を  
がんばりました



熊部栄三郎さん  
屋外作業をがんばりま  
した



園田陽子さん  
ビーズ通しなどをがん  
ばりました



三浦保幸さん  
毎日ごはんをたくさん食  
べることができました



宮崎みさえさん  
リハビリをがんばりまし  
た

## 1月 (Jan)



大笹賢一郎さん  
機能訓練をがんばり  
ました



小篠公明さん  
毎朝ポストの朝刊をとる  
係りをがんばりました



長尾クニエさん  
リハビリをがんばり  
ました



福原五月さん  
歩行をがんばりました



松本元輝さん  
栗の皮むき作業を  
がんばりました

南海寮の やさいなえ



今年も例年通り、野菜の苗を仕立てをしています。  
毎年、皆様にはご愛顧頂きありがとうございます。  
昨今、異常気象で野菜の値段も高騰しています。是非  
今回も南海苗を利用して頂き、野菜作りを頑張って  
みて下さい。心をこめて仕立てていますのでご協力  
よろしくお願いします。

4月より販売開始 各種1本60円

- ★ナス(千里長茄子)
- ★ピーマン(エース)
- ★トマト(桃太郎)
- ★ミニトマト(ペペトマト)
- ★カボチャ
- ★キュウリ(長華、南進)
- ★カボチャ(エビス)
- ★オクラ(丸オクラ)
- ★シシトウ

お電話での注文随時受け付けております！【担当：森山】  
TEL 0969-23-3850/FAX 0969-22-4977

## 通所センターだより



今回は、センターでブームになっている事を紹介してみます。

お正月からお餅を食べる機会が多かったと思いますが、センターでもお餅は好評で、どんどやで食べたあの香ばしい餅を味わいたくて、「七輪と炭」を用意して、15時のオヤツの定番です。餅を焼いて下さっているのは山崎良雄さんで、どんどやの時も網焼きを担当され、美味しい焼けた餅を提供する為に傍を離れず、丁寧な仕事で大活躍されました。最近腰痛で横になってしまう事も多くなりましたが、餅焼きをお願いすると快く引き受けて下さり、膨らみ加

減や焦げ色などを見ながら、タイミング良くひっくり返して芯まで焼き上げて下さいます。焼き始めると香ばしい匂いが部屋中に漂ってくるので、今日のオヤツが何かすぐにバレてしまい、きな粉餅？砂糖しょう油？などの声が聞かれ活動にも力が入れるようです。もう2月になりましたが、餅がある限り、「七輪と炭」で焼いて食べようと思っています。その時はまた山崎さんの出番です。餅以外にも「ししゃも」とか「するめ」もヘルシーで体にも良いな～と思いましたが、室内の匂いを考えると止めた方がいいですね。(笑)

(大仁田美穂)

### 職員研修会等参加報告

- 九州地区障害者支援施設部会研修 (11月6日・7日) 浜田中
- カウンセリング研修 (11月10・11日) 高瀬
- 自閉症協議会全国大会 (11月13・14日) 森山
- リスクマネジメント研修 (11月25・26日) 中嶋、松浦
- 地域共生づくりフォーラム (11月29日) 施設長、中嶋
- 社会福祉法人法令関係研修 (12月1日) 入船他3名
- 施設職員家族合同研修 (12月11日) 倉田
- 虐待防止合同研修 (12月18日) 松本
- 相談支援連絡協議会 (12月20日) 松本
- 地域支援日中活動支援部会合同研修 (12月22日) 井上、石原
- 障害者支援施設部会全国大会 (1月29・30日)



### リハビリ実践報告

今年度10月より理学療法士によるグループリハビリを始めました。専門的なアドバイスを頂きながら7名のグループで歩行やストレッチ運動、踊ったり歌ったりと楽しんで行なう事が出来ています。歩行は平行棒を購入し車椅子の方などを中心にグループリハビリ時以外にも毎日使用しており今後の歩行、立位力保持のために役立てていきたいと思っております。また、ストレッチ運動のためのマットも購入。起き上がり、いざり移動うつぶせになる等今まで行っていなかったストレッチ運動を行っております。今後も理学療法士のアドバイスを受けながら職員も楽しんでもらえるリハビリを提供していきます。(石原美恵)

### 今後の予定

- 3月 お楽しみ会
- 4月 家族会総会(面談会)

### 編集後記

「暮れゆきし 青海原に さす月の 輝ふ波に 舟こぎいだす」(今は月の明かりに海原を渡るように頼りない中にあるが、やがて輝き渡る道が開けるでしょう) 初詣で引いたおみくじ(中吉)に書かれていた和歌で、それぞれの運勢も「堅実」や「心穏やかに」という記述が印象的で改めて自分と向き合う良い機会となりました。

祈りを祈りとして終わらせることなく志として、昨日よりも今日、今日よりも明日、堅実に心穏やかに焦らず少しずつでもステップアップできるよう努めていきたいと思っております。本年もよろしくお願いいたします。 koki

### 新任職員・退職職員



【新任職員】  
高見美和子(調理員)  
利用者の皆さんに喜んで頂けるようがんばります。



【定年退職】  
濱本とよ子(調理員)  
20年の長きにわたりありがとうございました。